

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2015～2016年度

第56代会長 大森久巳男

第56代幹事 横山 貢



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2015年10月8日(木) 第2691回例会 天候:晴れ 司会:大箭剛久副幹事 No. 13

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

- ◇歌唱 「我等の生業」「覇気あれ我がクラブ」 ◇会長挨拶
- ◇幹事報告 ◇委員会報告 地区大会実行委員会
- ◇卓話 後藤定毅様 (大和中RC パストガバナー) 「ロータリーの本質について」

◎ゲスト・ビジター紹介

後藤定毅様 (ゲストスピーカー 大和中RC パストガバナー)

◎幹事報告

◇ガバナー事務所より

- *2018～2019年度 ガバナー・ノミニー選出の件
- *2018～2019年度 ガバナー・ノミニー候補者提案に関する告知
- *2014-2015年度地区資金会計報告送付の件
- *クラブ研修リーダーセミナー開催の案内 ・11/18(水) 14:00～ ・藤沢商工会館 ミナパーク
- *「職業奉仕月間」(2016年1月) 卓話話者派遣について
- *渡辺年度入会『新会員同窓会』の案内
- ・10/25(日) ・茅ヶ崎市民文化会館 地区大会会場並びに大懇親会会場内 新会員ブース
- *『END POLIO NOW Yシャツ』購入の案内 1枚…5,000円 サイズ…S・M・L・XL
- *ロータリー財団 100周年プレコンサートの案内 ～財団学友によるチャリティーコンサート～(再) ・11/3(火/祝) 14:00 開演 ・ヨコスカ・ベイサイド・ポケット ・入場料:3,000円
- ◇綾瀬RCより 神奈川ブランド鮎の稚魚放流事業の勉強会について(通知) ・10/16(木) 19:00～20:30 ・綾瀬市中央公民館 3階講堂B
- ◇6RC合同親睦ゴルフ大会実行委員会より 『合同親睦ゴルフ大会』のお知らせ ・11/9(月) ・湘南シーサイド・カントリー倶楽部 ・会費:5,000円 ・プレー代:19,920円(昼食付)
- ◇倉沢修市ガバナー事務所より 「関東・東北豪雨」災害義捐金振込への礼状
- ◇さぼせんニューズレター2015年Vol.46
- ◇タウンニュース

◎委員会報告

国際・地区大会実行委員会 [加藤会員]
: ソウル国際大会へのお誘いと地区大会準備進捗状況報告

スマイル報告 関 伸司会員

後藤定毅様 (パストガバナー・大和中RC) しばらくぶりに伺いました。本日はよろしくお願ひ致します。

大森久巳男君 & 横山貢君 大和中RC 後藤パストガバナーようこそいらっしゃいませ。本日は「ロータリーの本質について」を宜しくお願いします。

大森久巳男君 先週第一例会では結婚記念祝いを家内共々いただきました。感謝! 一週遅れましたが、感謝の気持ちをスマイルさせていただきます。

伊藤留治君 後藤パストガバナーようこそいらっしゃいませ。
杉本行廣君 後藤PG、ご多用中お越し下さりありがとうございます。

山口利通君 後藤パストガバナーようこそ。本日はご指導の程、よろしくお願ひ致します。

池上 實君 本年も恒例の「茅ヶ崎市民文化祭」が開催され、27の部会が公演、展示、発表されます。どうぞお出かけ下さい。

小澤耕一君 後藤PGようこそ。卓話楽しみです。

成田栄二君 後藤パストガバナーようこそ! 卓話楽しみです。

下里洋一君 後藤パストガバナーようこそおいで下さいました。阪神タイガースがようやくクライマックスシリーズの進出が決まりました。よかった!

加藤 寛君 後藤PGようこそ。本日はよろしく!

清水賢一君 後藤パストガバナーようこそいらっしゃいませ。卓話よろしくお願ひいたします。

河本啓伸君 後藤パストガバナーようこそ。天才ミュージシャンのライブが明後日に迫りました。あふれる才能ゆえか、チケットは完売となっております。どうしてもお越しになりたいという場合はヤフーオークション等で探して下さい。...見つからないと思いますが。

大箭剛久君 朝晩めっきり涼しくなってきました。秋は地区大会ほか行事が目白押し。体に気をつけて過ごしたいと思ひます。



スマイル報告の関会員

◎出席報告 木村信一会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
10/8	2691	45	44	35	3	6	86.36%	
9/24	2689	45	39+4	37	1+2	3	88.37%	93.02%

- 和田幸男君** 後藤PG卓話よろしくお願ひします。
- 亀井信幸君** こんにちは。
- 富田桂司君** ゲストスピーカ―後藤パストガバナー、いらっしやいませ。昨日は娘の初運動会に参加いたしました。ちびっ子達の徒競走かわいらしかったです！ビデオ撮影を忘れ、妻からはしかられてしまいました。スポーツの秋ですね！
- 畠田宏治君** 10.10（じゅってんじゅう）かわもとライブインなんどき牧場に行けないのが、今年一番の残念無念です。
- 木村信一君** 後藤様ようこそいらっしやいませ。卓話、楽しみにしております。
- 品田和也君** 後藤パストガバナー様ようこそいらっしやいませ。
- 西山国男君** 大和中RC後藤パストガバナー様、卓話宜しくお願ひします。
- 関 伸司君** パストガバナー後藤定毅様ようこそ！卓話「ロータリーの本質について」楽しみにしています。
[本日 23 件、38,000 円です]

卓話「ロータリーの本質」

後藤定毅様

(パストガバナー・大和中RC)

2010～2011 年度 2780 地区ガバナー



ロータリー創立の動機は、20 世紀初めの無秩序と無法と腐敗の街だったシカゴで、この町で心からなんでも相談できる、また語り合える友人がいたらどんなに素晴らしいことだろうと、1905 年、ポール・ハリスが考えたことから始まりでした。本当に仲良くなるには一業種から一人だけでとの考えが支持を受け、たくさんの人たちが集まったため、当時の定款では、会員の事業場の利益の促進、会員同士の親睦が目的で、奉仕の概念はありませんでした。その後「自分たちだけの儲けのために集まっている団体に社会的意義はなく、いつか潰れるのが落ちだ。」という反省から、親睦のエネルギーを世のため人のためという「奉仕」の考えが、ロータリーに生まれたと言われます。

現在ロータリーには、他人のことを思いやり、尽くす社会奉仕理念 (Service Above Self) と、事業の継続的繁栄を願う職業奉仕理念 (He profits most who serves best) があります。

さらにロータリーは奉仕を实践する分類として、五大奉仕を掲げています。すなわちクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕です。クラブ奉仕は自分が所属するクラブや仲間のために進んで行う活動ですが、その一番の活動は例会出席であり、週一回の例会に出席して自己の業種からは得ることが出来ない異業種の知恵を会員から学べる機会にもなります。ロータリー運動は、「クラブ奉仕」が基本で、「奉仕の心」を磨くのが「クラブ奉仕」だと言われています。

ご案内のようにロータリーでは三つの義務以外に、縛りがほとんどない組織ですから、自らが参加し出席し役割を担うことが大変重要だと思います。言葉を言い換えれば、自分から参加出席してかわらなければ、何ももたらされない組織だとも言えるのかもしれない。

次に職業奉仕ですが、他の奉仕団体にないロータリーが考える独特の奉仕分野です。これは、自分の職業について、利益の優先だけでなく自分の職業を通じて社会、顧客に奉仕することを第一義に考えて企業経営することが、結果として継続的に利益を得ることにつながるのではないかとこの考え方です。この考えは業界全体の職業倫理の向上にもつながり、つまるところは職業奉仕実践の受益者はロータリアン本人であることになるということではないでしょうか。

三つ目の社会奉仕ですが、他人のことを思いやり、他人のために尽くすという意味を持ち、社会奉仕、世界社会奉仕活動がこれに当たります。ただロータリーにおける社会奉仕活動は、チャリティ（恵み）であってはならず、あくまで自立を助けるボランティア活動が望ましいとされていますが、それは有名な決議 23-34 の「ロータリーは基本的には一つの人生哲学、利己的な欲求と他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげようとするものであり、ロータリークラブの社会奉仕活動は、会員に奉仕の訓練を施すために考えられた研究室の実験としてのみこれを見るべきである。」という考えが示されていることからでもわかります。

それと世界がグローバル化した現在では、国際レベルの活動である国際奉仕活動や、次代を担う青少年のための青少年奉仕活動もありますが、どれも欠くことのできない奉仕の実践上の分類として、ロータリーの中で大きな分野として世界中で取り組まれています。

さて今国際ロータリーでは「ロータリーの本質」について、現在「地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク」と言っているように思います。簡単に言うと時代の変化の中で、ロータリーの根底にあった「I serve」よりも「We serve」が強調されているのではないのでしょうか。

しかし私は「ロータリーの本質」は、クラブにおいて世の中に役立つ職業から一業種一人制で選ばれた会員同士が、毎週 1 回の例会に出席し、親睦を通じそれぞれの違いを認め合い、情報を交換し、お互いに学びあい、人格を形成しあい、助け合いながら、世のため人のためになる考えを身につけて、自分の家庭や職場で、あるいは地域や世界で、奉仕の理念を实践していくことではないかと思っています。すなわち「自分づくり」、「人づくり」こそが、ロータリーの原点ではないのでしょうか。

ロータリークラブは楽しいものでなければなりません。ただ楽しいだけではどこにでもあるような気がします。友情を培い、自己を向上させてくれる場、そして役に立つ場でなければならないと思います。まさに田中ガバナーが掲げる「役に立つロータリー、楽しいロータリーに」です。毎週一度、厳しい社会の荒波にもまれた心身をリフレッシュし、明日への活力や元気を蘇えらせてくれる場、これがロータリーのあるべき姿ではないのでしょうか。今後の茅ヶ崎ロータリークラブのご発展を祈って、拙い話を終わらせて戴きます。